

平成26年度県立真岡工業高等学校における学校評価実施報告書

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

- ア 「つもり」学習をやめさせ、「気づかせる」学習を図る
- イ 創造型実践技術者の育成を図る
- ウ 自らの専門性向上を図る
- エ 教職員がお互いに支えあい、明るい職場環境づくり

(2) 評価項目

- ・ 本年度の重点目標を受けて、各部・科・学年において設定した。

(3) 評価の観点、評価基準等

- ・ 評価項目を設定した部・科・学年において設定した。

(4) 評価実施時期及び実施方法

- ・ 年度末、検定試験等については結果が出次第、設定した基準に従って評価した。

(5) 評価結果

- ・ 全41項目中、評価Aが14項目、Bが18項目（AとBとで全体の78%）

(6) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

- ア P T A学年会、P T A理事会等において、保護者アンケート及び生徒生活アンケートの結果に基づく内容を保護者に公表した。
- イ 学校評価全体の概要を、年度末に、本校ホームページで公開した。

(7) 実施により改善されたこと

- ア 検定試験合格率、P T A総会への出席率、生徒の授業への取組に対する教員の評価等、数値目標のある項目の多くで数値の上昇が見られた。
- イ 教員の授業改善に役立った等、改善の実感が得られた。

(8) 評価結果に基づく今後の改善方策等

- ア 良好な評価であった項目については、現在の状態からさらに向上させていけるよう、評価基準を見直す。
- イ 良好な評価でなかった項目については、改善のための具体的な取組を行う。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

- ・ 学校評議員会を活用した。

(2) 評価実施時期および実施方法

- ア 第1回学校評議員会[平成26年11月6日（木）]
 - (ア) 保護者アンケート及び生徒生活アンケートについて報告し意見をいただく。
 - (イ) 本校の重点目標に応じた活動内容について報告し、授業の様子を視察いただき、意見をいただく。
- イ 第2回学校評議員会[平成27年2月13日（金）]
 - ・ 自己評価結果、各種アンケートについての分析結果、および各科の状況等を報告し、意見をいただく。

(3) 評価結果の公表時期および公表の方法等

- ・ 年度末に学校評価における自己評価をまとめ、ホームページ、平成27年度のPTA総会等において公表する。

(4) 評価結果

○評議員の方々から、以下のような意見をいただいた。

ア 資格は就職して役に立つことであり、取得に向けての指導を、より積極的にお願いしたい。また、手を実際に使いながら取り組むことで得るものも多い。工業人として基本的なことをしっかり学ばせてほしい。

イ 経営に携わる者の目には、人間的に幅・深みのない社会人が目立つ。人間力のある人材育成を期待したい。

ウ 学校をめざす方向性や着地点を、数値目標と絡めて、一般の方にも理解しやすいように提示すると良いのではないか。

(5) 評価結果に基づく今後の改善方法等

ア 今後とも、資格取得をはじめ、技能検定の受験や各種ものづくりコンテストへの積極的な参加を奨励する。また、事前指導などを通じ生徒への支援を十分に行う。

イ 人間性向上のための指導を継続する。

ウ 学校評価や生徒の活躍等を、様々なメディアを通じて、より積極的に発信していく。

3 学校の情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

(1) 提供内容

- ・ 毎月の学校行事予定
- ・ 本校生徒特別活動の実績
- ・ 本校職員の紹介
- ・ PTA活動の概要
- ・ 保健室利用状況
- ・ 工業各科の学習内容、活動内容

(2) 提供方法

- ・ 真工高ホームページ
- ・ 中学校訪問（学校紹介）時の資料
- ・ クラス便り
- ・ PTA便り